

(9) (月ぎめ購読料1,800円うち消費税133円)・一部売り(税込み)80円 <第3種郵便物認可>

カヌー国際大会

出場の7種目でメダル

田辺工業高3年 富塚君

カヌースプリントの国際大会「アジアパシフィックスプリントカップ」が10、12日、ニュージーランドのカラピロ湖であり、田辺工業高校カヌー部3年の富塚晴之君(17)が個人と団体で出場した全7種目で3位以内に入賞した。このうちU18(18歳以下)男女混合4人乗りの200mでは優勝した。

大会はU21(21歳以下)、U18、U16(16歳以下)の各世代の日本代表選手が、ニュージーランドやオーストラリア、シンガポールなどの同年代の代表選手と競った。

優勝したU18男女混合4人乗り200mは決勝に4艇が出場し、富塚君を含む日本チ

ームが36秒64を記録した。富塚君は男子カヤックシングル(1人乗り)の200mでは予選を通過し、決勝(9艇出場)で40秒63を記録して3位だった。

この他、U18男子カヤックの4人乗り500mで2位、2人乗りと4人乗りの200

mはいずれも3位。U18の男女3人ずつ6人組の「ミックスリレー」で3位。U21、U18、U16の各男女1人ずつ6人組の「ミックスメガリレー」も3位だった。

富塚君は今大会で金メダル1個、銀メダル1個、銅メダル5個を獲得。「国際大会の雰囲気味わい、海外の選手と交流していい経験ができた。海外の選手は体力やパドルをこく速さがあったので、もっと体力や筋力を付けたい」と手こえを語る。

高校からカヌーを始め、地元の中高生でつくる「田辺カヌースプリントクラブ」にも所属して練習を重ねた。海外派遣選手の選手選考会ではジュニア男子カヤックシングル

の200mで優勝するなど好成績を残し、初めて日本代表入りした。日本代表チームに指導者として同行した田辺工業高の谷地利和教諭(47)は「出場した国は世界でも指折りの強豪。富塚はこれから世界と戦う上で個人、チームでも自分の持てる力を発揮し、たぐさんのレースができたのでいい経験になった」と健闘をたたえた。



出場した全種目でメダルを獲得した富塚晴之君